

公民館だより

松林

2020 年秋号

第67号

発行日 2020年10月31日

編集・発行

茅ヶ崎市立松林公民館

〒253-0018

茅ヶ崎市室田一丁目3番2号

電話 0467-52-1314



みんなの公民館
みんなできれいに



昨年の大掃除の様子（6月・11月）

主な内容

- 2頁 令和2年度講座紹介
- 3頁 令和元年度主催事業紹介「子どもの広場」「第5回松林ホノルルデイ」
「中学生ボランティア」「第37回松林公民館まつり」
- 8頁 地域発「松林地区学童野球リーグ」「皆で見守ろう子どもたち」
- 11頁 利用団体紹介「室田小学校区青少年育成推進協議会」「ハーモニック松林」
「松林PCさくら・松林PCあじさい・松林PCひまわり」
- 12頁 図書室紹介
- 13頁 職員から
- 14頁 公運審だより・編集後記

令和2年度講座紹介

動画講座 (YouTube) はじめました！

新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は主催講座を公民館で開催できないので、各公民館では動画講座を作成しています。松林公民館でも次のように沢山の動画を公開しています。また、完成した作品の画像等を公民館まで送るとホームページで紹介されます！

動画講座の視聴方法

茅ヶ崎市のホームページ → くらし → 教育(くらし) → 公民館 →
松林公民館ホームページ → 講座情報 → 松林公民館の講座 →
「松林公民館の動画講座(YouTube)はこちら」

QRコードを読み込んでも見られます



♡お気に入りの動画を見つけよう♡

- 松林畑クラブ
- おもしろ科学実験1・おもしろ科学実験2
- 親子でかざぐるまをつくろう
- とんとんすもうづくり
- 赤しそ入り梅干しの作り方
- 梅シロップを作ろう！
- バルーンアート「とびネズミ」
- myスポーツドリンクをつくろう！
- バジルソースを作ろう！
- 私の布ぞうりづくり
- ハロウィンにチーズケーキを作ろう
- ママのやさしいベビーマッサージ
- かんたん♪ アロマストーンづくり

(令和2年10月13日現在)

随時動画は追加していきます。

また、オンライン講座も企画中！

「おうちで学ぼう～ビデオ会議システム『Zoom』の使い方」は11月開催予定
(申込期間が終了している場合があります)

令和元年度 主催事業紹介

子どもの広場

ボランティアグループ フチトマトの皆さん
……今までありがとうございました！

平成7年より活動のボランティアグループ・フチトマトは、令和元年度で解散となりました。小学生以下を対象に、ほぼ毎月1回行われる子どもの広場で、そのすべてに協力していただいたボランティアグループです。企画から運営まで公民館との二人三脚で行って来ました。

子どもの広場では、季節の祭事に関連した工作や、普段子どもたちではなかなかできない遊びやスポーツなどを体験できる場を提供しています。

元年度の季節の祭事関連での工作として4月はこいのぼり、6月は七夕かざり、10月はハロウインのカードやオーナメント、12月はお正月用の招き猫タペストリーを作りました。フチトマトの皆さんの指導のもと、各自が思い思いの工夫をこらし、素敵なものができあがっていました。



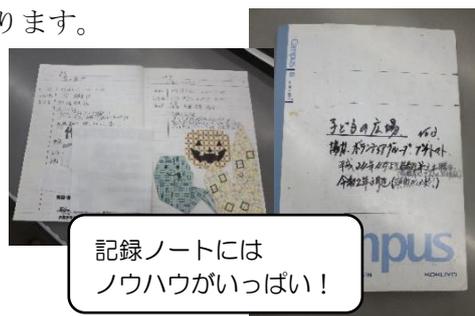
ゲストを招いた月もあります。5月は「みんなであたおう」と題し、松浪小学校の楠本先生のピアノで、保護者の皆さんとも一緒に楽しく合唱を行いました。7月は松林地区体育振興会の皆さんに協力いただき、ワナゲ大会を行いました。公式ルールにの

ったワナゲ大会では、子どもたちの一喜一憂の歓声があがりました。かたわらでは、スポーツチャンバラも体験し、痛くないチャンバラごっこを楽しみました

簡単なおやつ作りを行った月もあります。また、8月にはお手玉やあやとり、紙鉄砲、折り紙などの昔遊びを行い、フチトマトの皆さんの得意分野で子どもたちと楽しい一日を過ごしました。



どんなことをすれば子どもたちが喜んでくれるかな、少し難しいけれど挑戦してもらおうかな、これは危ないかな、怪我しないかな、今度はこういうゲストを呼んだらどうだろう……。本当に子どもたちが大好きなフチトマトの皆さん。毎回の打合せにも熱が入ります。



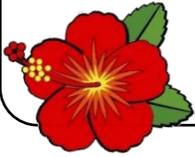
記録ノートに目を通しました。何をやるか皆で考え、段取りを記したもの。当日の様子や反省点を書き出したもの。その記録のすべてが、これからの子どもの広場にも大いに役立つ財産となるでしょう。

フチトマトの皆さん、長い間お疲れ様でした。ありがとうございました。



第5回松林ホノルルデイ~Pine Woods Honolulu Day

令和元年7月13日(土)



♪♪ 公民館でアロハ~ ♪♪



茅ヶ崎市と米国ホノルル市・郡は、平成26年(2014年)10月24日に姉妹都市協定を締結しました。市では、姉妹都市ホノルルをより身近に感じてもらえるよう、様々な催しを行ってきましたが、公民館でも夏のホノルルウィークに合わせて「松林ホノルルデイ」を開催してきました。

公民館を拠点として活動しているサークルや個人と協力しながら、日頃の活動成果を地域に還元してもらい、地域の方に交流を図ってもらう場となることを目指すものです。

と、まあ硬い文章を並べましたが、取材ついでに楽しもうではありませんか! ということで、カメラ片手にレッツゴー!

公民館の入口では、ハワイアンレイをつけたサーフボードがお出迎え。



ウエルカム♪
ホノルルデイ

ロビーには
素敵な作品

ロビーでは、ハワイアンキルトなどの作品がずらりと並びます。うーん、渾身の作です。不器用な私には真似できないが、いつか作ってみたいな。

さあ、次はステージをのぞいてみましょう。さっきからハワイアン~♪ な音が漏れ聞こえていたのでわくわくしながら会場へ。フラダンスや、ウクレレ・ギターなどの演奏で会場は大盛り上がり。公民館主催事業の「はじめてのウクレレ教室」メンバーも、今日の発表に向けて練習してきた成果をお披露目です。素敵な演奏をありがとう!

午後からは湘南ピザ(しらす入り)とスムージー作り。うーんおいしそう♪ また、別の部屋ではカ

ード作りを行っていました。きれいな花やフラダンス人形などの素敵なカードができあがり、皆の笑顔であふれていました。



ステージでは
大きな拍手!



どんな模様のカード
にしようかな



ピザとスムージー
できあがり♪



室田保育園にはホノルル
仕様のバッカー車も来たよ

松林ホノルルからは以上でした!

♡頼もしい助っ人♡ 中学生が公民館主催事業に協力！！

子ども卓球教室
令和元年7月25日、26日開催



講師の湯原さんのサポートとして
松林中学校卓球部が協力

夏休み親子おもしろ科学実験
令和元年8月3日開催



赤羽根中学校科学部による「リングひこうき」の工作指導
その後は酒井さんのサイエンスショーのサポートもしました

松林公民館まつり
令和元年11月9日、10日開催



花みこしだ
一緒にわっしょい！



松林中学校の生徒会ボランティアの皆さん
わなげやバルーンアートのキッズコーナーなどで活躍

第37回松林公民館まつり

令和元年11月9日(土)～10日(日)

～令和になっても高めよう松林の力～

令和元年6月に公民館まつり実行委員会を立ち上げ、まつり開催まで6回の実行委員会、必要に応じ部門別打合せを行ってきました。

当日は2日間とも晴天に恵まれ、5000人強の方が来場し、盛況でした。

各サークルの日頃の学習成果が十分に発揮され、また、地元中学生ボランティアの参加により公民館利用者や地域の方との交流も深まった2日間でした。



サークルが日頃の練習成果を発表



ステージ部門



中学生の演奏、小学生の合唱、保育園児による花みこし、ピアノ・ギター等のソロコーナー、祭囃子保存会の演奏、キッズコーナー、将棋対戦と指導コーナーなど、企画も盛りだくさん



室田保育園には
消防車やパッカー車も



特別企画として「チャリティカラオケ大会」「南三陸復興支援海の幸フェア」を実施

プレ企画として8日(金)は「10000歩に挑戦!」を開催

展示部門



サークルが日頃の活動の成果を展示



公民館主催講座の作品もあります



模擬店もまつりには欠かせない♪



模擬店部門



駐輪場の様子

まつりプログラムやポスターで宣伝



広報部門や駐輪場部門も活躍♪

～公民館まつりを終えて～

第37回松林公民館まつり実行委員長 島村淑子さん



この5年間、公民館まつり実行委員長として私が目指したものは「公民館利用者の連携による地域の活性化」です。地域活動やサークル活動のメンバーの皆さんは、それぞれ卓抜したアイデアや才能、高度な技術、豊富な経験を持っていらして、まさに適材適所、素晴らしい活躍をしてくださいました。おかげさまで、毎年新しいイベントを開催することができ、とても賑やかでした。

地区の元気な子どもたちは、それぞれに出演したり、遊びに来てくれたり、中学生たちは連日のボランティアも引き受けてくれました。

毎年、模擬店も多数出店していただきますが、この年は出店場所の割り振りに苦心するほどでした。松林公民館はおいしいものが沢山出ると評判になり、市内各所からお客様が来てくださり、ほとんど全部の店が完売でした。

特筆すべきは、恒例になった地域の首長、有名人たちによるチャリティカラオケ大会です。年々パフォーマンスにも工夫を凝らし、抱腹絶倒、とても楽しい催しとなっています。

地域発

松林公民館の近隣小学校を拠点として活動している 松林地区学童野球リーグの5チームを紹介します🏟️

春のセンバツ甲子園が中止。夏の甲子園も中止（センバツ出場校
同士の交流戦のみ）。神奈川県夏の独自大会は無観客……。
残念だけど、コロナウイルス感染拡大防止のためには
仕方がない。ステイホームでテレビ観戦を楽しもう。



とある野球ファン
&元高校球児の
つぶやき…🏟️

「コロナの影響で、今年の6年生は『がまんの1年』ですね。中3も高3もだけど……」と、松林地区学童野球リーグ（以下「松林リーグ」）会長の杉山 仁さん。松林リーグは、室田小、松林小、小和田小を拠点として活動している少年野球の5チームから構成されています。

小学校は3月から6月中旬まで閉校となり、校庭も使えず、野球の練習もできない状態となってしまいました。学校が再開し、屋外施設も徐々に解放され、ようやく小学校グラウンドでも野球少年たちの声が響き渡るようになりました。とは言っても公式戦が減ってしまい、例年だと松林リーグは総当たりでリーグ戦を行うのですが、今年の前期大会はトーナメント。それでも野球ができる喜びで子どもたちの笑顔があふれています。

杉山さんからは、野球の試合だけではなく松林リーグとしての活動も聞きました。秋の「ベースボールフェスティバル in 松林」では松林地区まちぢから協議会の協力のもと、地域の4年生以下の小学生を対象に野球を楽しんでもらうお祭りを行いました。（今年は中止）冬には6年生が松林中や赤羽根中野球部での部活動体験を行いました。また、今年の2月には松林地区体育振興会の協力を得て、保護者向けの勉強会を初めて開催し、健康と体づくりやチームマネジメントなどについて、指導者と一緒に学んだとのこと。今後もリーグ発展のために活動していくという意気込みが感じられました。

リトルアポロンス

代表 依田 政司さん



室田小が拠点。

全力プレーで魅力あるチームづくりを目指す。挨拶は大きな声で元気よく！ 思いやりやチームワークを大切にしている。

夏のキャンプ、地域のお祭りへの参加、練習後の水鉄砲大会（頭につけた金魚すくい用の「ポイ」が的）、クリスマスや親子ソフトボール大会など行事もたくさん。（今年は中止行事あり）保護者のお茶当番はないが、できる範囲での協力をいただいているので助かるとのこと。卒業しても「^{リトルアポロンス}LA」の仲間として長く付き合える仲間たち。野球を通して大きな「和」になっていくことを大事にしている。



室田ホークス

代表 小川 恵道さん



室田小が拠点。

今年の活動方針のテーマは「元気に挨拶・のびのびと全員野球で頑張ろう！！」。野球を通じて健康で協調性や思いやり、主体性のある少年の育成を目指す。

例年7月末には合宿を行っているが、今年はコロナの影響で6年生だけ近隣でキャンプを行った。保護者のお茶当番はないが、救護班として子どもへの対応をしてもらっている。また、自分の子どもが卒業してもそのまま指導者として残っている方が多いのも特徴。現在6年生が15人いるが、最後の年の公式戦優勝に向けて頑張っている。

松林ベースボールクラブ

代表 内田 芳久さん

松林小が拠点。

ブラックサニーズ（OBに元中日の山本昌さん）とキングアローズが合併して7年目。

野球を通して健康増進を図り、「一人は全員の、全員は1人のために」チームプレーに徹する。皆でやっているという意識を持って活動。夏にはキャンプ、冬には親子ソフトボール大会やボウリング大会。（今年は中止行事あり）保護者のお茶当番は大変かもしれないが、子どもたちのこの一度しかない一瞬、ひと時を楽しんでほしい。子ども、指導者、保護者一丸となつてのチーム作りを目指していく。



リトルビクトリーズ

代表 阿賀 恵太朗さん

松林小が拠点。

チームビジョンは、全選手の「価値」を見いだすこと。

野球の上手な子だけではなく、声の大きな子、ムードメーカーの子、それぞれの「価値」を見だし、全員で「勝ち」を目指す。

行事は夏まつり、冬まつり、合宿、七夕、元旦マラソンなど盛りだくさん。（今年は中止行事あり）卒団式だけでなく、新チームの結団式も行う。保護者の当番や父母会はないが、指導者はお父さんや地域の方で構成され、気軽に預けられる。

チームTシャツも可愛い！ と好評だ。



ムーンスターズ

代表 田中 茂さん

小和田小が拠点。

野球を通して子どもたちの主体性や自主性を育てることを目標とする。指導者中心で運営し、保護者のお茶当番も廃止した。

グラウンドにはスプリンクラーがあり、夏の練習時には欠かせない。

今年は中止で残念だったが、例年夏のキャンプを行っている。

卒業生もよく顔を出してくれる。この取材時にも高校生が手伝いに訪れ、子どもたちと楽しそうに練習していた。

小和田小では1チームしかないの、仲良く、自由にのびのびと活動している。



「もっと上手になりたい」「試合に勝ちたい」「練習は大変だけど楽しい」子どもたちはいつでも一生懸命。指導者は全てボランティア。野球と子どもが大好き。そして、裏方として支えてくれる保護者の皆さん。卒業しても皆の思い出はあせないでしょう。



◎各チームでは団員募集中です！◎
それぞれのチームではホームページがありますので、是非ご覧ください。（チーム名で検索Q）

地域発



皆で見守ろう子どもたち できる人が！ できる範囲で！



子どもたちへの見守り活動は、各地域で行われています。保護者や地域の方、子どもたちにとっては近所のおじさんおばさん、おじいさんおばあさんが見守ってくれています。子どもを見守り、挨拶することによって、犯罪の抑止力になります。登下校の際にも、横断歩道など各場所で、子どもたちが安全に歩けるように気を配ってくれています。

「散歩がてら、見守っていただける地域の人たちを募集いたします」。平成17年12月、室田小学校区の青少年育成推進協議会（以下「推進協」）が事務局となって、防犯パトロールのボランティアを回覧で募りました。子どもたちが被害者となる事件が多発しているため、地域で何かできないか、という声があがったことがきっかけでした。

当時の事務局で、現在も推進協でボランティアの世話人として取りまとめをされている大川静雄さんにお話を伺いました。

現在は30人ほどで活動して、できる人ができる時間の中で、子どもたちの登下校の見守りを行っているとのこと。小学校の校門近くの横断歩道だけでなく、通学路や自分の家の前など、登下校時にできる時間で、できる範囲の中でボランティアをお願いしています。車や他の歩行者、自転車などで通行される方への気配りも忘れません。

実際に室田小学校の校門へ行って見ました。正門前にお一人、少し西へ行って神明大神入口のケヤキの木の前にお一人。神明大神へ続く道の所にもお一人。横断用の旗を持ちながら、子どもたちと元気に挨拶をかわしています。「おはよう！」「おはようございます」

合間にお話を聞きました。「卒業式にね。おじさん

6年間ありがとうございました、って挨拶してくれてね。嬉しいね」。それは感動します！「あの子が来ないな。今日はお休みかな」「いつもあの子はこの時間なんだよ」。学校の先生たちよりも詳しい！

児童が一番通るという南門近くの横断歩道にも行って見ました。お二人で大勢の子どもたちの安全に気を配りながら、大きな挨拶をかわしていました。

「子どもたちを守ろうという使命感みたいなものもあるけど、朝のこの少しの時間にたくさんの元気を子どもからもらっているんだよ」。そう語るボランティアの皆さんの瞳は優しさにあふれていました。

正門（北門）の朝の様子



南門近くの朝の様子



お話を伺ったボランティアの皆さん
左から今井さん 浅岡さん 山形さん

室田小学校 大越敏孝校長先生より

毎朝子どもたちに声をかけながら、登校を温かく見守ってくださっている見守りボランティアの皆さん。雨の日も風の日も児童の安全・安心のために活動していただいていることを本当に心強く、ありがたく思っています。

通学路には、玄関先で児童に優しく声をかけてくださっている方や散歩しながら児童を見守ってくださっている方もいらっしゃいます。地域の方々に包まれているように育まれている室田小の子どもたちは幸せだと感じています。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。

利用団体紹介

★★松林公民館では約160の利用団体・サークルがあり、地域活動、スポーツ、音楽、料理、工芸など様々な分野で活動しています。ここではそのほんの一部を紹介！★★

◆地域で育てよう子どもたち◆ 室田小学校区青少年育成 推進協議会

(会長 井野 孔美さん)

青少年育成推進協議会は、地域で青少年活動を行うことを目的に市内小学校区ごとに組織化され、地域住民、諸団体と連携を取りながら、地域に根差した活動を行っている団体です。

室田小学校区青少年育成推進協議会でも、室田小学校・松林中学校・円蔵中学校の3校の協力のもと、青少年にかかわる団体や地域の人々が中心となり活動しています。

令和元年度は、交通安全自転車教室や夜間(環境)パトロール、学区内スポーツ交流会、子どもまつり、教育センターとの共催で子育て・子育て出前講座などを実施しました。また、児童の見守りや安全パトロールを地域のボランティアの方たちの協力のもと行っています。(前ページ参照)他にも児童と一緒に小学校の植木の手入れをするなど、様々な活動を行っています。

子どもまつりは、毎年子どもたちが楽しみにしている冬のイベントで、室田小学校の校庭や体育館が会場となります。大人子ども合わせて大勢の参加者が中学生の演奏を聴いたり、地域団体や子ども実行委員による色々なコーナーで遊んだり、楽しい一日を過ごしたようです。

今はコロナの影響もありますが、今後も各校の生徒たちや地域とのふれあいを深めていけるような活動を目指しています。



むろた推進協だより

♪歌声かろやかに♪ ハーモニック松林 (代表 山口 真砂子さん)



講義室の扉が一時的に閉められました。事務所の誰かがつぶやきます。「ああ、聞こえなくなっちゃった。聴いていたかったけど」と。

今日の練習曲は『卒業写真』『春よ来い』。指導の大森知恵子さんの優しい声が響きます。

松林中学校PTAコーラスとして活動の後、平成6年に「ハーモニック松林」と改名。女声合唱からポップス、ジャズ、童謡、民謡と色々な曲にトライしています。



練習風景



松林音楽祭に出演

茅ヶ崎市民文化会館での「松林の風チャリティコンサート」は、ユース松林や松林中学校合唱部・合唱団とのジョイントで行ってきましたが、平成28年3月の第10回目を区切りとして終えました。

その後、ハーモニック松林の単独コンサートを市民文化会館で2回ほど開催。いずれもこれまでの感謝をこめて、少しでも社会に貢献をしたいとの思いからチャリティコンサートとして開催されました。令和元年6月の「ハーモニック松林2ndコンサート」では、10万円もの寄付金が集まり、茅ヶ崎子ども未来応援基金に寄付したとのこと。常日頃地域で懸命に活動してきた成果でしょう。

練習時にお邪魔しました。心が洗われるような美しいハーモニーです。今日は大森さんの他にピアニストの井上洋美さんも来られて、練習に一層身が入るようです。

コロナの影響でコンサートなどの発表する場が減る中、「いつか」来るその日のためにも日々の練習は欠かせません。

♪パソコンライフを楽しもう♪

松林PCさくら
松林PCあじさい
松林PCひまわり



松林公民館にはパソコンサークルが3つあります。「松林PCさくら」「松林PCあじさい」「松林PCひまわり」、いずれも公民館が主催するパソコン講座の受講者を中心として発足したサークルです。

講師はNPO法人パソコンボランティア湘南。パソコン初心者を支援し、市民の情報化社会への対応に寄与したいと願って活動している団体です。市内の公民館等のサークル支援や訪問支援、市のパソコン体験コーナー運営などを行っています。

3つのサークルとも月に2回ほど講習を行い、ワードやエクセルなどの基本操作からスクラッチなどのプログラミング、その他様々なメニューやスマホ講習、セキュリティ対策などを講師の指導のもと勉強しています。

また、公民館主催事業「夏休み子どもサークル体

験」に毎年協力しています。(今年は中止)メモ帳づくりなど、子どもたちに楽しくパソコンを体験してもらおうと工夫。そのためにはまず会員がしっかりマスターしなければと、事前学習では普段の講習よりも力が入ります。教えてもらう(インプット)だけではなかなか覚えられないものですが、人に教える(アウトプット)ことによってしっかりと身につくものです。サークルの学習成果を地域に還元する場としてもよい機会です。

コロナの影響で公民館が閉館した際には、自宅にしながらできる講習としてZoom(ズーム)を活用しました。9月から対面での講習を再開しましたが、いつ状況が変化するかわからない中、Zoomは有効なアイテムとして今後も活用が期待されます。



会員募集中です!
「パソコン湘南」のホームページ又は、公民館備え付けの「サークル団体紹介」をご覧ください。

図書室紹介

~松林図書室へようこそ~

❖ 開室時間 10:00~12:00
13:00~17:00 ※12:00~13:00はお昼休みです。

♪どうぞご利用ください。♪



□貸出期間は**15**日間
□借りた本は図書館本館・分館や他の図書室でも返却できます。
□その他詳しいことは松林図書室まで



公民館には
図書室があるぞよ!

松林図書室には
約**9600**冊
の本があります!



職員から

～館長・前館長 より～

館長の菊池です。令和2年4月1日付人事異動により公民館長に就任いたしました。年度当初からコロナ禍により休館や主催事業中止など目まぐるしく月日が経ち、先行きが見通せない状況でも、新しい生活様式を取り入れた貸館事業再開や、動画講座をインターネット配信するなどポジティブに活躍している職員とともに公民館の役割を果たすべく奮闘する日々です。地域の皆様とともに事業展開をして笑顔あふれる公民館となるよう努力を重ねていきたいと考えておりますので、今後ともご理解・ご協力よろしくお願い致します。



前館長の森井です。新型コロナウイルスの影響で、公民館も主催事業の相次ぐ中止、さらには閉館……。この状況の中で異動の内示が……。えっ！！まさか！！それが正直な感想です。松林公民館での3年間は本当にあつという間でした。利用者の皆さんは優しく、時には厳しく接して下さり、至らぬ館長を常に温かい目で見守って下さりました。本当は皆さんにご挨拶をして公民館を去りたかったのですが、それもかなわず……。ご挨拶できなかった方、お許しください。(大泣)でも、引き続き松林公民館には顔を出したいと思いますので、私を見かけたら気軽に声をかけてくださいね。最後に、松林公民館で楽しい時間を皆さんと過ごすことができ、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。そして、新型コロナウイルスが早く終息し、いつもの日常と楽しい松林公民館が早く戻ってくることを心より願っています。



◇◇◇ 昨年度異動・退職しました ◇◇◇

三留です。4月から市民課へ異動になりました。松林公民館は、1年間お世話になりました。第37回公民館まつりでは、実行委員会、サークル及び地域の皆様から多くの参加をいただき、大変楽しい時間を共有させていただきました。ありがとうございました。



加藤です。皆様お久しぶりで。昨年の11月に松林公民館を退職しました。在職中は多くの素晴らしい利用者様との出会いがあり、あんな事やこんな事、楽しい思い出ばかりです。大変お世話になりました。ありがとうございました。



廣田です。この1年は、毎日が楽しく一瞬のような時期でした。私は、松林地区の方々を存じ上げませんでしたが、皆様、直ぐに親しくお声掛け下さり、とてもうれしく思いました。これからも松林公民館をよろしくお願いいたします。また、お会いしましょう。ありがとうございました。



◇◇◇ 4月に来ました ◇◇◇

鈴木です。図書館から参りました鈴木です。平成12年から5年間、お世話になり、再度、皆さまとお会いすることになりました。当時のことを思い出しながら、皆様の仲間入り出来るよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

安藤です。数年前に松林公民館の近くに越してきて以来、講座に参加したりサークルに入ったり、公民館が私の身近な場所となりました。今後は職員として地域の皆様と楽しくふれあいながら事業を進めていきたいと思っております。

大谷です。今はコロナで利用制限のある公民館ですが、熱心に活動するサークルの皆さんに元気をもらう日々です。地域の方に気持ちよく使っていただけるように努めたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



後列左から

①大谷 ②安藤 ③長澤 ④目瀬

前列左から

⑤鈴木 ⑥菊池(館長) ⑦阿久津

④⑥は職員 ⑤は再任用職員

①②③⑦は社会教育嘱託員

夜間管理業務員

宮本・太田・平山・川村の4人が交替で勤務します。

よろしくお願いいたします。

公運審だより

公民館運営審議会（通称「公運審」）は、館長の諮問に応じ各種の事業の企画実施について調査審議しています。委員は、公民館利用者や地域団体、近隣小中学校から選出されています。

令和元年度は、3回の審議会を開催しました。第1回は、会長や副会長の選出、関係団体への推薦委員の選出や、当年度の予算及び事業計画について審議しました。第2回及び第3回は、主催事業の報告及び公民館まつりについて審議しました。

令和2年度は8月29日の第1回（書面会議）にて、諮問・答申について、令和元年度の主催事業の報告、令和2年度の事業計画及び予算についてなどを審議しました。

松林公民館運営審議会委員名簿

任期：平成31年4月1日から令和3年3月31日まで

| 委員名 | 所属団体の名称 | 備考 |
|--------|------------------|-----|
| 田中 由季乃 | 室田小学校区青少年育成推進協議会 | |
| 細田 勲 | 松林地区まちぢから協議会 | 会長 |
| 浅岡 肇 | 松林地区社会福祉協議会 | |
| 小澤 登代子 | 松林地区民生委員児童委員協議会 | 副会長 |
| 吉原 敏明 | 松林地区体育振興会 | |
| 島村 淑子 | 松林公民館利用者団体代表 | |
| 小俣 宏之 | 赤羽根中学校教頭 | |

編集後記に代えて

コロナウイルスの影響で、茅ヶ崎市の事業は原則として令和3年3月末まで中止となりました。

公民館も2年3月に一度閉館となり、新年度を迎え、4月に3日間だけ開館した後、再び閉館となりました。利用者に部屋を貸し出しできるようになったのは、7月からです。利用者には感染防止対策を講じてもらい、部屋の利用時間や利用人数の制限などを行っています。

閉館中でも、消毒用アルコールの不足を受け、市内企業の協力により微酸性次亜塩素酸水の配布を公民館などで行ってきました。地域の方が「近くで配っていただけると助かります」とお礼を言って帰られました。公民館は地域になくてはならないものだと思感する一コマです。

ステイホームとは言っても、人はずっと家にいて、ただ大人しくしてはいられない。外で自由に遊べない子どもたち、運動不足が心配な高齢者、人と人との関

わりがなくなってしまうことへの不安。コロナとどう向き合っていくか、どう対策していくか。考えることはたくさんあります。

日常が早く戻ることを願う毎日です。



久しぶりの公民館だよりです。編集会議を行うことができないため、職員を中心に、地域や利用団体の皆様の協力を得て作成しました。ご協力いただいた多くの方に感謝いたします。